

エリアウェーブ

峡東教育事務所 地域教育支援スタッフ Tel 0553-20-2731 Fax 0553-20-2733

主な記事・紹介校・団体

- ・玉宮小・帝京学園短大・山梨高
- ・大和小中・甘草屋敷こども図書館
- ・日下部公民館・自然保護教育振興会
- ・峡東地或世界農業遺産推進協議会
- ・きっずやつしろ



「甲州市学校教育グランドデザイン」の具現化に向けて

甲州市 教育長 小林 俊彦 氏

甲州市 枯露柿のカーテン

今年から就任された甲州市の小林教育長より、峡東3市教育長連載の続編をいただきました。

この4月より、甲州市の教育長を務めさせていただいております小林俊彦と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。「エリアウェーブ」の紙面をお借りして、今年度、甲州市の学校教育をどのように展開していくのかについて紹介をさせていただきます。



昭和57年、塩山南小学校教諭として教壇に立つ。峡東教育事務所主幹指導主事、塩山南小学校長などを経て今年度から甲州市教育長。趣味は読書。62歳。

人工知能(AI)、ビッグデータ、Internet of Things(IOT)、ロボティクス等の先端技術が高度化して、

あらゆる産業や社会生活に取り入れられた Society5.0 時代が到来しております。その一方で、新型コロナウイルス感染症をはじめ、気候温暖化、自然環境や資源の有限性、貧困など、社会の変化はより加速度を増し、複雑で予測困難なものになっております。このように急激に変化する時代の中にあっては、児童生徒一人一人が、自分のよさや可能性を十二分に認識するとともに、あらゆる他者も価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成することが学校教育には強く求められています。

こうしたことから、令和3年度のスタートにあたり、私は改めて、「人・自然・ふるさとを愛する甲州教育」を基本理念とする甲州市の教育、即ち、子どもたちが学校に通うことを楽しいと感じ、人やふるさと、自然を愛し、大人になってもふるさと甲州市に愛着が持てる教育について、甲州市の教育に関わる全ての人たちと心を一つにして、「チーム甲州」で取り組んでいきたいと考えました。今年度の取組の大きな柱は、「令和3年度甲州市学校教育グランド

デザイン」の具現化です。取組を進めるにあたっては、次の視点を大切にしていきたいと考えます。

◇「令和3年度甲州市学校教育グランドデザイン」の具現化に向けて、大切にしたい視点と具体的内容

【視点1】 コロナ禍の中、安全・安心面に最大限の注意を払い、一日一日、子どもたちが学校に通うことが楽しいと感じる教育活動を確実に展開する。

- ・感染症対策の徹底
- ・新学習指導要領全面实施の中での、創意工夫した教育課程の実践
- ・「ひとりの笑顔 みんなで守る甲州市」(Q-Uの活用)

【視点2】 甲州教育の原点とも言える、「わだつみ平和文庫」創設の意義を再確認し、子どもたちがなりたい自分になろうとすることを応援し、なりたい自分になれる資質・能力を着実に身に付けさせる。

- ・「確かな学力」育成プロジェクトの推進
- ・「わだつみ平和文庫」と、その資料集の活用
- ・「みんなが使えて、みんなで進める甲州市GIGAスクール」
- ・特別支援教育の充実
- ・外国語教育の推進(小中連携)
- ・体力の向上

【視点3】 保護者や地域住民との連携を大切にし、子どもたちの良さ、先生たちの良さ、学校の良さ、保護者の良さ、地域の良さが実感できる教育活動を、自信をもって展開する。

- ・コミュニティスクールの充実と、「社会に開かれた教育課程」の創造
- ・伝統文化教育の推進
- ・食育の推進 ・教育環境の充実

10月に入り、該当地域に出されていた緊急事態宣言やまん延防止等重点措置は解除されましたが、第6波、第7波の到来を警戒しなければならない状況です。感染症対策を徹底して、児童生徒の学びを確かなものとし甲州の教育を推し進めていきたいと考えます。

水神池自然公園で米作り体験

甲州市立玉宮小学校・かじかクラブ



5月 苗代を簡易温室へ



6月 田植えに挑戦

玉宮小では5年生が「かじかクラブ」の方々からご指導をいただき、年間通した米作り活動に取り組んでいます。かじかクラブは玉宮地区の元青年部の皆さんにより構成され、20年以上前から里山の自然を守りながら子どもたちに環境教育活動を行う有志の団体です。児童たちは4月に種籾を蒔いて5月に苗代を作り、6月には学校近くの水神池自然公園内に造られた水田で田植えを行いました。泥の中で自由にならない足元に歓声をあげ苦戦しながらも、丁寧に苗を植えていました。夏の間、たわわに実っていく稲を見守り、10月には鎌を使った稲刈りにも挑戦しました。その後、昔ながらの方法で刈り取った稲穂を藁でまとめ、「うし」と呼ばれる乾燥台に干し、自分たちで脱穀した後、学校に持ち帰りました。

児童たちは一年を通して体験したことで、米作りの大変さと収穫の喜びを身に染みて感じることができ、口に入れたその味のおいしさは一生涯忘れないものになることでしょう。



10月 待ち望んだ稲刈り



脱穀された米を両手に

峡東地域で幼稚園・保育園実習

帝京学園短期大学

55年の歴史をもつ帝京学園短大保育科は、平成31年4月（令和元年度）から山梨市に移転され、峡東地区の多くの幼稚園・保育園・認定こども園で教育実習・保育実習を行うようになりました。帝京学園短大では2年間で幼稚園教諭2種免許状と保育士資格の両方を



甲州市 塩山カトリック幼稚園での教育実習の様子 遊具での安全確認



山梨市 つつじ幼稚園での教育実習の様子 英語教室のサポート

取得できるため、両園の特徴を合わせもつ認定こども園への就職も可能です。また、児童厚生に関わる資格も取得可能で、児童館などでも実習を行っています。実習を受け入れている施設では、園児たちが普段は見慣れない学生たちを取り囲み、一緒に遊んでもらおうと楽しそうにはしゃいでいました。学生のみなさんには、実習の経験を活かし、峡東地区の幼児教育・保育の将来を担えるような活躍を期待しています。



笛吹市 石和東こども園での保育実習の様子 紙工作で彩色をアドバイス

東京オリンピック・パラリンピック報告会

笛吹市立石和南小学校
山梨市立日下部小学校

今年開催された東京オリンピックに出場したレスリングの乙黒兄弟と、パラリンピックに出場した走り高跳びの鈴木選手が、それぞれ出身市の小学校で報告会を行いました。選手たちは、児童から夢や感動を与えていただいたことへの感謝の言葉や花束などを贈呈された後、石和南小では縄跳びの耐久競争やジャンケン大会、日下部小では鈴

木選手から贈呈された「ボッチャ」の道具を使って競技を楽しみ、児童との交流を深めました。石和南小では、乙黒拓斗選手が獲得した金メダルを参加した児童全員に触らせてくれるサプライズもあり、それぞれ世界的に活躍するトップ選手を、地元において間近に見られたことは児童たちにとって感動的な一生の思い出になったことでしょう。



縄跳びでの交流



選手との記念写真



金メダルを触り、喜ぶ児童



ボッチャでの交流の様子



選手との記念写真

Z世代によるSDGs達成のための活動講話

山梨県立山梨高等学校



階段に貼られたSDGs標識

山梨高校では「総合的な探究の時間」で、SDGsについて様々な活動に取り組んでいます。今年は生徒と年齢の近い、「Z世代」のSDGs活動家3名を講師として招聘し、それぞれ直接講演をいただく予定でしたが、コロナ禍のためオンラインで講師と各教室を繋ぐリモート形式で行われました。

Z世代とは、2000年前後に誕生した世代で、生まれた時からインターネット、SNS、スマホなどが当たり前のデジタルネイティブな世代を指します。「探Q講話」と題した1回目は慶応義塾大学に在学中で、全国で講演活動を行っている環境活動家の露木志奈氏(20歳)から、自身の留学経験などから得た知見をもとに世界の現状や温暖化対策で一人ひとりが今すぐできることなどについて講演いただきました。2回目は慶応義塾大学大学院在学中でフォロワー数5万人超えのアカウントを運営し、30歳以下の若者が政治参加する社会を目指す、一般社団法人NO YOUTH NO JAPAN代表理事である能條桃子氏(23歳)から、環境格差やジェンダー不平等の解決策などについて講演いただきました。

3回目は山梨県出身で東京大学に在学中の化学者、発明家であり、一般社団法人炭素回収技術研究機構(CRRA)代表理事・機構長である村木風海氏(21歳)から、高校時代での発明や現在の多様な活動、「火星に住みたい」という小学校時代からの夢に向かって現在も着実に進んでいる様子などの講演いただきました。3回の講演を受けた生徒たちからは「講師の先生の発想もすごいです、それを行動に移し実現してしまうところが尊敬できました。思っているだけでなく、実行することが大切だと痛感しました。」といった感想が聞かれ、いずれも同年代である生徒にとって大きな刺激になっていました。



露木 志奈氏 (8/31)



能條 桃子氏 (9/7)



村木 風海氏 (9/14)

天目山勝頼公太鼓を継承

大和小では毎年4~6年生が、伝統の「天目山勝頼公太鼓」を東山梨音楽祭や勝頼公まつりなどで披露してきましたが、今年はコロナの影響で中止や縮小が相次ぎ、多くの方に演奏を聴いてもらう機会が少なくなってしまいました。



心を込めて、精一杯の演奏を披露

それでも伝統を守り続けるため、15年以上前から太鼓演奏の第一人者である音楽家の前田タクヤ氏を特別講師として定期的に招聘し、演奏の腕を磨き続けています。児童たちは、バチを打つ位置で音圧が変わることや、気持ちを伝えるために体の動きや表情にも心を通わせることなど、講師による細やかな指導に熱心に応え、運動会での披露の場で、観る人聴く人の心を揺さぶる感動的な演奏を見せてくれました。

甲州市立大和小学校



集中して指導に聴き入る

学園祭を各家庭にLIVE配信

甲州市立大和中学校



全校生徒による演劇を配信

今年には新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、多くの学校で学園祭や運動会を一斉参集させず、リモート撮影された映像を教室などに分散して観劇・観戦する形を余儀なくされました。大和中では「一刻千金〜一瞬の時を焼きつけろ〜」をテーマにした学園祭の様子を、希望する家庭に対してオンラインで生配信しました。インターネット環境の整っていない体育館や校庭には校舎内からLANケーブルを延長して繋ぎ、複数のWebカメラやハウダリーマイクなどを駆使して、臨場感をそのままに映像や音響を視聴者に届けることができました。「新しい生活様式」



校庭での体育部門も配信

3校合同3年生社会科見学

甲州市立大藤小学校・神金小学校・玉宮小学校



宮光園で説明を熱心に聞く児童ら



地下の貯蔵庫に驚く児童ら

9月15日に、3校は勝沼町の「宮光園」と「まるき葡萄酒」を見学しました。甲州市を代表する特産物である「葡萄」を使ったワイン作りについて、「宮光園」でその歴史を、「まるき葡萄酒」では作業の様子・工程・工夫などについて学びました。

「宮光園」では、貴重な写真・ビデオをもとに説明を聞いた児童らは、展示室・地下貯蔵庫・白蔵等を見学し、創業当時のワインボトルや地下の貯蔵庫、児童の背丈以上の大きな樽を目の当たりにして、ワイン作りの歴史について学びを深めました。

「まるき葡萄酒」では、ワインの原料となる葡萄について畑で説明を聞いたり、工場の中でワインができるまでを見学したりしました。雑草を食べる羊は、より環境に優しく自然を破壊しないという「サステイナビリティ」につながることも学びました。

事前の学習を踏まえて、意義深い見学となりました。



羊もワイン作りの一員



木の樽に入れたワインの説明を聞く様子

秋の庭園で絵本の世界を楽しもう

甲州市立甘草屋敷こども図書館

甲州市の甘草屋敷こども図書館では、敷地内の庭や家屋を使って親子が絵本を読む「パークライブラリーイベント」を春と秋に行っています。今年の秋は10月

10日に実施され、午前中には「お父さんのおはなし会」、午後にはワークショップ「ハロウィーンかぼちゃをつくろう」を行いました。参加した親子たちは、のんびりとハンモックに揺られたり、テントの中で秘密基地に隠れた気分で、また縁側に座って絵本を読み聞かせをしてもらったりと、爽やかな秋の空気を感じながら楽しい絵本の世界を満喫していました。



お父さんのおはなし会



古民家風の屋敷内でペーパークラフトを行う親子

荒野に希望の灯をともし

山梨市 日下部公民館

アフガニスタンとパキスタンで国際医療活動に従事していた中村 哲氏が、一昨年凶弾に倒れたニュースは世界中に衝撃と深い悲しみを与えました。中村氏と彼の支援団体PMS（平和医療団）は、現地の慢性的な病気が不衛生な水と食糧不足からくる栄養失調が原因であることに気づき、干ばつで荒廃した土地に27kmに及び用水路を建設して緑地を復活させて65万人の命を支える偉業を成し遂げました。山梨市の日下部公民館では、館長の内藤 理氏が中村氏の偉業と平和を望む崇高な思いを多くの方に伝えたいと願い、国際NGOのペシャワール会から資料を提供いただき現地活動記録写真展を開催しました。10月5日～10日の開催期間



写真パネルに見入る来館者



活動の紹介映像を視聴

中は全国から1,000人を超える来館者があり、写真パネルや記録映像を視聴したほか、日下部リコーダークラブによるコンサートや山梨市立図書館による著書紹介コーナーなどのコラボレーション企画も行われ、多くの参加者が中村氏を偲び、平和への誓いを新たにしていました。



山梨市立図書館の著書紹介コーナー

就学前児童の子育て講演会

山梨市立山梨小学校・笛吹市立富士見小学校



山梨小での塚田さん

各小学校では、来年度入学予定の年長児が就学時発達検査を受けている間、保護者に対してさまざまな説明会を行います。各分野の専門家を招いて子育て講演会を実施している学校もあります。山梨小では10月6日にNPO法人すてっぴあつぷる 峡東家庭教育支援チームの塚田さんを、富士見小では10月19日に峡東教育事務所の森永スクールソーシャルワーカーを招き、それぞれの講師の豊富な知見と実践経験をもとに、その年代の子どもの特徴や接し方などを紹介し

つつ、入学前に家庭で気をつけて欲しいことや、入学後の悩みごとへの対処の仕方などについて講演を行いました。子どもたちには、楽しい小学校生活に胸を膨らませ、4月から元気に登校してくれることを期待しています。



富士見小での森永 SSW

身近な生物を教材に

山梨県高等学校教育研究会理科部会生物分科会
山梨県自然保護教育振興会・山梨県立笛吹高等学校

生物科目には、近年脚光を浴びている分子生物学などデスクワークを主に研究するミクロ分野と、生態学などフィールドワークを主に研究するマクロ分野があります。時代とともにデスクワークの専門教員が増えつつあるなか、高校理科生物分科会では子どもたちの身近な自然への興味関心に対応できる教員を養成すべく、毎年県内各所で野外

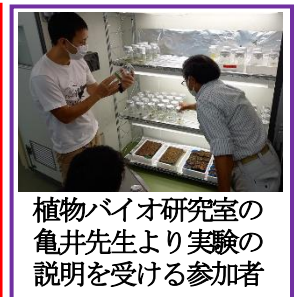
観察会を行っています。今年は10月16日に自然保護教育振興会との共催で、笛吹高校の附属農場において相互研修を実施し、改めて身近な動植物について知見を深めるとともに、教材化へのヒントを探りました。また笛吹高校の植物バイオ研究室で組織培養の様子も見学し、明日からの授業に活かせる有意義な研修機会となりました。



キャベツ畑の生態系を調査する参加者と、サナギから羽化したばかりのモンシロチョウ



温室内のパンジーなどで越冬し1年に5回も産卵、羽化を繰り返すツマグロヒョウモン



植物バイオ研究室の亀井先生より実験の説明を受ける参加者

果樹農業の持続的な発展をめざして

峡東地域世界農業遺産推進協議会



桃畑の下で昆虫を採取

扇状地を利用した峡東地域の果樹栽培は、1300年前から始まったとも伝えられ、ブドウやモモ、カキなど「甲州八珍果」と呼ばれる代表的な果実以外にも300種類以上の品種があり、世界的にも高い品質を誇っています。また、果樹園に自生する下草を雑草として刈り取らず、肥料や益虫などの生息環境として活かす「草生栽培」により、豊かな生物多様性を維持していることも特徴で、国際目標であるSDGsに貢献することから「世界農業遺産」への認定をめざしています。峡東3市と県の農政総務課による推進協議会では、この伝統農法を継承すべく、10月3日に子どもと保護者を対象にした「果樹園の生き物観察会」を開きました。峡東3市から公募で選ばれた子どもたちは、峡東地域独特の果樹農業システムや動植物の生態、食物連鎖などの講義を受けたあと、果樹園の下草から採集した生き物を顕微鏡で観察し、「あんなにいっぱい虫がいることを知り、びっくりしました。」とこれまで気づけなかった生物多様性の豊かさに感動していました。



農業遺産に関する講義



ピペットで虫を分類



双眼実体顕微鏡で観察

野菜スタンプあそび

笛吹市子育て支援センター「きっすやつしろ」



野菜スタンプあそびの説明を聞き、タマネギの皮をむく親子ら

「きっすやつしろ」では、10月5日に未就園児親子を対象に野菜スタンプあそびを実施しました。参加した親子たちはスタッフの斉藤さんの説明を聞いた後、それぞれの野菜の手触りを確かめながらタマネギ、レンコン、ピーマン、オクラ、ヤングコーン、大葉などの切り口に絵の具をつけ、スタンプあそびを楽しみました。色とりどりの形のスタンプが押されるたびに子どもたちは歓声をあげたり、とび跳ねたりして喜んでいました。



何種類もの野菜と色でカラフルな作品を作る様子

峡東地域中学校 新人体育大会

東山梨地区と笛吹市ともに10月6日を中心に、中学1・2年生チームの初めての公式戦となる新人体育大会が開催されました。天候にも恵まれて各会場で熱戦が繰り広げられ、それぞれの上位入賞校が県中学校新人大会への出場権を獲得しました。各種目の優勝校は次のとおりです。

東山梨地区 優勝校

野球	山梨北
サッカー	山梨北
バスケットボール	男子 塩山
	女子 山梨南
バレーボール	男子 山梨北
	女子 山梨南
ソフトテニス (団体)	男子 山梨南
	女子 山梨南
卓球 (団体)	男子 山梨南
	女子 山梨南
剣道 (団体)	男子 勝沼
	女子 山梨北
柔道 (団体)	男子 山梨北
ハンドボール	男子 塩山
	女子 山梨北
ソフトボール	塩山
バドミントン (個人)	男子 勝沼
	女子 勝沼



笛吹地区 優勝校

野球	石和
サッカー	石和
バスケットボール	男子 浅川
	女子 御坂
バレーボール	男子 御坂
	女子 御坂
ソフトテニス (団体)	男子 浅川
	女子 御坂
卓球 (団体)	男子 浅川
	女子 浅川
剣道 (団体)	男子 春日居
	女子 石和
弓道 (団体)	男子 石和
	女子 石和
体操 (個人)	女子 石和



PDF版をご覧ください

『エリアウェブ』はPDFのカラー版を峡東教育事務所ホームページに掲載中です。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、ホームページを開けます。是非ご覧ください。



エリアウェブ ホームページ

ホームページアドレス

<https://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-hym/chiiki/backnumber.html>

ご意見をお寄せください

『エリアウェブ』のご意見・ご感想・取材情報をスタッフ一同お待ちしております。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、メールでご連絡いただくか、表紙上部の連絡先にご連絡ください。



E-mail アドレス

kyoiku-hym@pref.yamanashi.lg.jp

お問い合わせ